



なでしこ 宮崎

ナースセンターだより vol.75



3階病棟



2階病棟



外来



地方独立行政法人 西都児湯医療センター

「地域医療の充実による地域社会への貢献、次代の医療人の育成、地域の行政・医療機関・施設との連携推進」の病院理念のもと、地域住民から信頼される医療機関を目指しています。西都児湯医療圏での地域災害拠点に指定されており、地域に根差した活動も行っています。

当院看護部では、地域の患者さんに寄り添い、「見る力」「つなぐ力」「寄り添う力」を忘れることなく、高い臨床実践能力を身につけるため、看護研究会などの取り組みを行い、地域の患者さんへ安全で安心できる看護の提供ができるよう日々努力しています。

CONTENTS

- 会長あいさつ
- 通常総会プログラム・提出議題
- 宮崎県看護研究学会報告
- 研修会報告

- 専門・認定看護師からみなさまへ
- 訪問看護師養成研修のご案内
- Let's take a break
- ナースセンターだより vol.75
- お知らせ

令和6年度会員数

(令和6年4月20日現在)

● 保健師	177名
● 助産師	212名
● 看護師	6,930名
● 准看護師	321名
合計	7,640名

会長あいさつ



若葉の緑が目にしみる季節になりました。皆さま如何お過ごしでしょうか。

令和5年度の協会事業も、各理事をはじめ会員の皆さまのご理解とご協力により計画通りに推進することができました。心より感謝申し上げます。

新しい仲間を迎え、慌ただしい中にも心新たな新年度をスタートされたことでしょうか。新人の皆さまはいくらか職場に慣れてきたでしょうか。宮崎県看護協会も新しい仲間を心より歓迎いたします。

今年度も新人看護職員研修推進事業等とおして、新人が看護にやりがいを感じ、成長していけるようサポートしてまいります。

さてこの4月から適用される「医師の働き方改革」において看護職が専門性を発揮するため、看護補助者との協働が以前にもまして必要となっています。

日本看護協会が発信している看護補助者の確保・定着に向けた情報や他施設の取組等を参考にいただくと幸いです。

宮崎県看護協会は、看護職能団体として会員はじめすべての看護職の皆さまとともに県民の皆さまの生命と健康を守るために役割を果たしてまいります。引き続き皆さまのご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度宮崎県看護協会通常総会は、昨年同様ハイブリッドで開催いたします。皆さまのご理解をお願いいたします。

公益社団法人 宮崎県看護協会
会長 中武 郁子

令和6年度 公益社団法人宮崎県看護協会 通常総会

日時 令和6年6月15日(土) 10:00~12:25

会場 宮崎県看護等研修センター 大研修室

プログラム

9:30	開 場		
9:55	オリエンテーション		
10:00	開 会		
	物故会員への黙祷		
	会長あいさつ		
	来賓祝辞		
	来賓紹介		
	宮崎県看護協会会長表彰		
	各種表彰者紹介		
10:45	議長団選出		
	議事録署名人決定		
10:50	議決事項		
	第一号議案		
	令和6年度役員等選出		
	令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出		
			令和7年度選挙管理委員会委員の任命 (選挙)
11:10	第二号議案		
	令和5年度決算報告(案)並びに監査報告		
11:25	報告事項		
	報告事項1 令和5年度理事会報告		
	報告事項2 令和5年度事業報告		
	報告事項3 令和6年度重点事業並びに事業計画		
	報告事項4 令和6年度収支予算		
12:10	選挙結果報告		
	新役員紹介		
	議長団退出		
	退任役員代表あいさつ		
12:25	閉会		

令和6年度 役員等選出 令和7年度 日本看護協会代議員及び予備代議員の選出

(候補者の公示：令和6年4月30日)

役員候補者紹介

会長 定数：1 改選：1 候補者：1

推薦委員会推薦

久保 敦子

〔協会活動歴〕

現宮崎県看護協会副会長等

〔抱負〕

看護職の活躍の場が拡大する一方、人員不足が深刻化しています。宮崎県の「看護」を守るため、「看護の魅力」発信、現職の看護職の資質向上、やりがいを持ちつつ働き続けられる環境・処遇の整備に尽力いたします。

副会長 定数：2 改選：1 候補者：1

推薦委員会推薦

中村 小夜子

〔協会活動歴〕

看護師職能I理事等

〔抱負〕

協会活動を通して看護職の皆さまが個々の役割と能力を十分に発揮し、やりがいをもって安心して働き続けられる環境づくりの推進、複雑・多様化する看護ニーズに対応できる人材の育成に尽力していきたいと思っております。

常務理事 定数：2 改選：2 候補者：2

推薦委員会推薦

永野 秀子

〔協会活動歴〕

保健師職能理事、看護制度委員等

〔抱負〕

新型コロナウイルス感染症や災害への対応を通して看護職への期待は大きくなっています。ひとりひとりのやりがい、看護職のネットワークの強化をめざしながら地域社会を支える職能団体としての成長に尽力します。

推薦委員会推薦

川崎 伸子

〔協会活動歴〕

広報出版委員、医療安全推進委員

〔抱負〕

看護職を取り巻く環境は多種多様化する中、看護師不足は深刻な問題です。看護師の皆様が個性を活かし働き続けられる環境作りの支援に精一杯努力します。みなさまのご協力、ご支援をお願いいたします。

看護師職能I理事 定数：1 改選：1 候補者：1

推薦委員会推薦

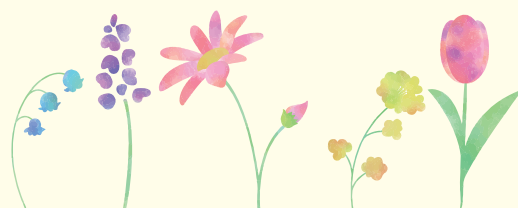
釘崎 信

〔協会活動歴〕

西都・児湯地区理事

〔抱負〕

県内の看護職の就業継続に向けた取り組みを行いながら、情報共有、課題の抽出、意見集約を行い、各施設の問題が少しでも解決するように尽力していきたいと思っております。皆様の御協力の程宜しく申し上げます。



地区理事 定数：7 改選：2 候補者：2

延岡・西臼杵地区

推薦委員会推薦

鴨田 充世

〔協会活動歴〕

医療安全推進委員

〔抱負〕

コロナ禍での医療活動では看護以外の領域の方々との連携体制の重要性を大きく肌で感じました。多様化・複雑化する人々のニーズに対応する為にも多職種連携、看護の質向上に繋がる地区活動を目指していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

都城・北諸県地区

推薦委員会推薦

荒武 昌代

〔協会活動歴〕

地区運営委員

〔抱負〕

地区の看護職の皆様と連携を図り、看護の質の向上、地域包括ケアシステムの強化に向け、取り組んで参りたいと思っております。未熟な点があると思っております。ご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

令和7年度 日本看護協会代議員及び予備代議員候補者

令和7年度 日本看護協会 代議員候補

定数:9

令和7年度 日本看護協会 予備代議員候補

定数:10

番号	氏名	職能別	役職等
1	田中 美幸	保健師	副会長
2	川崎 伸子	看護師	常務理事
3	蛭原 夕起子	保健師	保健師職能理事
4	田中 優子	助産師	助産師職能理事
5	釘崎 信	看護師	看護師職能Ⅰ理事
6	黒木 正樹	看護師	看護師職能Ⅱ理事
7	崎村 真由美	准看護師	准看護師理事
8	弓削 尚美	看護師	小林・えびの・西諸県地区理事
9	山中 ゆかり	看護師	日南・串間地区理事

番号	氏名	職能別	役職等
予備1	中村 小夜子	看護師	副会長
予備2	永野 秀子	保健師	常務理事
予備3	永山 加恵	保健師	保健師職能委員
予備4	林田 留実子	助産師	助産師職能委員
予備5	佐藤 百恵	助産師	助産師職能委員
予備6	井上 めぐみ	看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備7	佐藤 幸代	看護師	看護師職能委員（Ⅱ領域）
予備8	中村 幸恵	准看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備9	鴨田 充世	看護師	延岡・西臼杵地区理事
予備10	荒武 昌代	看護師	都城・北諸県地区理事

お知らせ

宮崎県看護協会役員及び日本看護協会代議員・予備代議員について、推薦候補者のほかに立候補を募りましたところ、締切日（令和6年2月22日）までに届け出がありませんでしたのでお知らせします。

令和6年度推薦委員候補者

定数:6

氏名	施設名
興梠 靖子	五ヶ瀬町国民健康保険病院
上原 千枝	宮崎県日向保健所
安田 みゆき	宮崎県立宮崎病院
岡野 理恵	宮崎江南病院
上田 淳子	藤元上町病院
清水 小百合	串間市民病院

令和7年度選挙管理委員会委員

氏名	職能別	施設名
田邊 真理	保健師	宮崎県高鍋保健所
地田 良美	保健師	宮崎市保健所
松本 友紀子	助産師	宮崎県立延岡病院
長倉 千夏	助産師	宮崎県立宮崎病院
餅原 悦子	看護師Ⅰ	小林市立病院
日高 栄美	看護師Ⅰ	和田病院
日野 亮司	看護師Ⅱ	訪問看護ステーション陽のひかり
谷口 世志美	看護師Ⅱ	自宅

第二号議案

令和5年度 決算報告(案)並びに監査報告

令和6年5月20日開催の理事会の承認を経て、翌日以降のホームページ等でお知らせします。

令和6年度 重点事業並びに事業計画

重点事業

1. 地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
2. 看護職の働き方改革の推進
3. 看護職の役割拡大の推進と人材育成
4. 地域における健康危機管理体制の整備
5. 組織力の強化

事業計画

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する看護の質向上に関する事業(公益目的事業) ※事業内容の太字ゴシックは新規計画

事業項目	事業内容
1-1) 継続教育の推進	(1)教育の企画・実施 ①「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育 ②ラダーと連動した継続教育 ③看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育 ④専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育 ⑤資格認定教育 ⑥看護の質向上のための研修 (2)教育研修計画の広報 (3)会員専用ページ「キャリアナース」への研修受講履歴の提供によるキャリア構築の支援 (4)教育委員会の開催(委員12名 年9回) (5)日本看護学会教育関連の学会、研修会等への参加 (6)研修実施報告書の作成 (7)研修環境の整備・管理 ①購入雑誌・図書の検討及び見直し ②教材機器の整備・管理 ③研修管理システム「マナブル」の運営
1-2) 新人看護職員育成の推進	(1)新人看護職員研修推進事業(宮崎県委託事業) ①新人看護職員研修の計画・実施 ・新人看護職員合同研修 ・新人看護職員研修責任者研修 ・新人看護職員教育担当者研修 ・新人看護職員実地指導者研修 ・令和7年度新人看護職員の理解に向けて ～看護基礎教育の現場と看護現場の連携～ ②研修計画・実施について広報 ③新人看護職員教育体制づくり支援(アドバイザー派遣)事業 ④新人看護職員研修推進協議会の開催 ⑤新人看護職員研修に関連する学会、研修会への参加 ⑥研修実施報告書の作成
1-3) 認定看護管理者教育の推進	(1)認定看護管理者教育運営委員会開催(委員8名 年6回) (2)ファーストレベル教育課程 ①認定看護管理者教育課程ファーストレベル 5月16日～9月13日(105時間) ②ファーストレベル教育課程修了者フォローアップ研修 5月26日 (3)セカンドレベル教育課程 ①認定看護管理者教育課程セカンドレベル 10月4日～1月24日(183時間) ②セカンドレベル教育課程修了者フォローアップ研修 6月1日 ③看護管理実践報告会 7月28日 ④看護管理学会、日本看護学会等への参加
1-4) 専門・認定看護師活動の支援	(1)専門看護師・認定看護師研修会 ①専門看護師・認定看護師研修会の開催 令和7年1月25日 ②専門・認定看護師委員会開催(委員6名 年4回) ③人的資源活用 (2)専門看護師・認定看護師の分野を越えたネットワーク構築 ①専門・認定看護師が協働して企画する看護職対象研修の開催 11月23日 ②人的資源活用 ③県内看護職・県民への情報発信
1-5) 看護学会等学術振興の支援	(1)宮崎県看護研究学会の開催 令和7年3月8日 ①看護研究学会委員会開催(委員6名 年6回) ②看護研究抄録選考委員会開催 ③日本看護学会、日本看護科学学会等への参加

事業項目	事業内容
1-6) 実習指導者講習会の支援	(1)実習指導者講習会(宮崎県委託事業) ①宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会開催 ・病院主体コース 6月12日～8月9日(30日間) ・特定分野コース 7月30日～8月22日(8日間) ②実習指導者講習会修了者フォローアップ研修開催 令和7年2月1日 ③実習指導者検討委員会開催(委員5名 年8回)

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
2-1) 働きやすい職場環境づくりの推進と事業支援	(1)職場環境づくり推進事業(宮崎県委託事業) ①看護職の働き方改革の推進に向け、健康で安心して働くことができる職場づくりの推進 ・働き続けられる職場環境づくり推進委員会開催(委員8名 年9回) ・看護職の働き方改革推進研修会 9月10日 ・看護職員の勤務環境についての調査の報告 ・地区施設代表者会議において勤務環境調査結果の報告及び意見交換 ・働き続けられる労働環境づくりを推進する施設の支援 ・労働安全衛生ガイドラインの活用 ②看護職離職防止支援(定着支援) ③関係団体との連携 宮崎県医師会、宮崎労働局、宮崎県医療勤務環境改善支援センター、宮崎県働き方改革推進支援センター、宮崎県社会保険労務士会、宮崎県福祉保健部等 ④働きやすい職場づくりに関する情報発信(地区開催) ⑤勤務環境等に関する相談の実施 (2)看護管理者等支援事業(宮崎県委託事業) ①看護管理者等支援事業 ・対象機関への相談支援の実施 ・対象機関：医療機関 ②事業報告会の開催(2地区) ③看護人材獲得支援事業連絡会議の開催(毎月1回)
2-2) 就業支援	(1)ナースバンク事業(宮崎県委託事業) ①NCCSを活用した職業紹介の円滑化、就業に効果的な情報の提供 ②ナースセンター広報活動 ・ナースセンターだよりを広報誌「なでしこ」内に掲載(年4回) ・SNS(LINE)による情報発信の強化 ・ナースセンターPRグッズ作成 ・県内看護学校卒業生へのPRグッズの配布 ③ハローワークにおける就業相談の実施 ・就業支援相談員会議(年2回) ・ハローワーク宮崎、延岡、日向、高鍋、都城、小林、日南での就業相談 ④求人施設への労働条件の改善に関する情報提供、助言 ・多様な就労受入れ体制・支援の強化 ・求人施設訪問の強化 ⑤求職者への労働環境・労働条件の改善に関する情報提供、助言 ・多様な就労支援の強化 ・施設見学の促進 ⑥宮崎県ナースセンター事業運営委員会の開催(年1回) ⑦ハローワーク、福祉人材センターとの連携 ⑧ナースセンター・ハローワーク連携事業 ⑨中央ナースセンターとの連携 (2)看護職の届け出制度の窓口(宮崎県委託事業) ①看護師等の届出制度のPRと就業支援の充実 ・看護職へのPR活動 ・届出登録者への就業に関する意向の確認と就業支援 (3)県内外看護師等への県内就業支援 ①看護師養成学校との連携 ②移住相談者への支援 ③県内施設の採用試験情報の提供
2-3) 復職支援	(1)復職支援事業(宮崎県委託事業) ①講義・演習コースの開催 6月(2日間)・9月(2日間) ②看護の分野別理解コース(認知症・訪問看護) ③採血・点滴技術演習の開催(毎月1回) ④復職支援交流カフェの開催(毎月1回) ⑤協力機関での職場体験コースの開催 ⑥セカンドキャリア支援 ・プラチナナースカフェの実施(6月、2月) ⑦就職準備セミナーの実施 7月、1月 ⑧地区別復職支援研修の開催 ・地区研修の実施(延岡) ・採血技術演習・復職支援研修の実施(ハローワーク) ⑨令和6年度受講生に対する就業状況調査・就業支援

事業項目	事業内容
2-4) 「看護の心」普及事業	(1)看護の心普及事業 ①看護の日のイベントの開催 ・「みやざきナース Today2024」の開催 5月17日 (2)看護の魅力発信事業(宮崎県委託事業) ①看護進路相談会2024の開催 7月6日 ②看護の出前授業の実施 ③「ふれあい看護体験2024」の実施 ④看護系進学状況調査の実施 ⑤職業選択に関するイベントへの協力 ⑥進路指導担当教諭への情報提供

3. 看護に関する調査及び研究並びに看護業務及び看護制度等の改善への提言に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
3-1) 看護制度に関する事業	(1)看護制度に関する普及啓発事業 ①看護制度委員会(委員6名 年3回開催) ②特定行為に係る看護師の研修制度に関する情報提供及び啓発 ③看護基礎教育制度改革に係る情報発信 ④その他看護制度に係る情報発信 (2)准看護師への進学支援及び学習支援事業 ①准看護師研修・交流会 ②看護師養成2年課程(通信制)に関する情報提供 ③日本看護協会との連携
3-2) 看護業務の改善に関する事項	(1)保健師職能委員会活動 ①保健師職能委員会開催(委員6名 12回開催) ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ③保健師職能研修会 12月14日 ④保健師職能集会(つどい) ⑤宮崎県保健師現任教育推進会議(2回)(県、県立看護大学との協働) ⑥日本公衆衛生看護学会学術集会への参加(愛知県) ⑦保健師職能だよりの発行 (2)助産師職能委員会活動 ①助産師職能委員会開催(委員6名 11回開催) ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ③「いいお産の日」イベント 11月 ④助産師職能研修会 ・助産師職能研修会 令和7年1月18日 ⑤研修会及び学会等への参加 (3)看護師職能委員会Ⅰ活動(病院領域) ①看護師職能委員会Ⅰ開催(委員10名 11回開催) ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ③研修会 ・看護師職能Ⅰ研修会 9月28日 ・准看護師研修・交流会 10月26日 (4)看護師職能委員会Ⅱ活動(介護・福祉関係施設・在宅等領域) ①看護師職能委員会Ⅱ開催(委員8名 12回開催) ②3職能4委員会合同研修会 11月9日 ③研修会 ・看護師職能Ⅱ研修会 8月24日 (5)県や関係団体の各種審議会等での発言・提言 ①関係機関・団体等への働きかけ ②審議会等で本会意見の反映

4. 県民に対する疾病の予防及び健康の保持増進に関する事業（公益目的事業）

事業項目	事業内容
4-1) 地域包括ケアシステムの推進	(1)看護職と他職種との交流会 (2)地域医療構想調整会議等への参画
4-2) 救急医療に関わる看護職の質向上の推進	(1)救急看護研修 (2)災害救急看護研修 (3)精神科救急看護研修
4-3) 県民の健康づくり推進に関する事業	(1)まちの保健室事業の普及啓発 ①定期型「まちの保健室」開催(地区開催) ②地域支援型・イベント型「まちの保健室」・市町村まつり・イベント等地域活動支援等 ③まちの保健室地区代表者委員会開催(委員13名 年5回) ④まちの保健室協力員の養成研修と登録の推進 ⑤地区別協力員会議 (2)生涯を通じた女性の健康支援 ①「いいお産の日」イベントにおける相談啓発

事業項目	事業内容
4-3) 県民の健康づくり推進に関する事業	(3)がん対策支援 ①ピンクリボン活動の普及啓発 ②関係団体との連携 ③研修会の開催 (4)生活習慣病並びに疾病予防対策 ①世界糖尿病デー、肝疾患・腎疾患・リウマチ等関連会議・イベント等の参加による予防対策の啓発 (5)自殺対策に係る人材育成研修事業(宮崎県委託事業) ①看護師等専門研修会の開催(自殺対策研修) 8月10日 ②地区別研修会の開催 ③自殺対策相談・まちの保健室相談員の養成講座の開催 (6)高齢者対策への取り組み ①研修会の開催 ②看護職員認知症対応力向上研修の開催(宮崎県委託事業)
4-4) 子育て支援	(1)子育て支援事業 ①児童虐待予防対策への取り組み ・宮崎県社会福祉審議会児童福祉専門分科会への参加 ②宮崎県「未来みやざき子育て県民運動推進事業」への協力

5. 医療安全対策及び災害等危機管理に関する事業(公益目的事業)

事業項目	事業内容
5-1) 医療安全推進事業	(1)研修会及び交流会の開催 ①医療安全推進委員会開催(委員10名 年6回) ②医療安全管理者養成研修(eラーニング 35時間、集合研修5時間 10月17日) ③医療安全研修会 ・第1回 8月23日 ・第2回 12月7日 (2)医療安全対策推進 ①医療安全推進週間の啓発 ②医療安全情報提供 ③医療安全推進の研修(地区開催) ④医療安全推進会議(年1回) ⑤医療の質安全学会への参加 ⑥看護職賠償責任保険制度加入の促進
5-2) 災害看護活動の推進	(1)災害看護研修の開催 ①災害支援ナース養成事業 ・災害支援ナース養成研修(災害・感染症対応):オンデマンド 20時間、演習10時間(11月29日、30日) ・災害支援ナース登録者対象研修(災害編) 10月4日、(感染症編) 10月11日 ・災害看護支援研修(地区開催) ・災害看護研修(看護管理者編) 8月3日 ②災害支援ナース登録管理 ③災害看護委員会の開催(委員8名 年6回) (2)災害発生時に備えての体制・環境整備 ①日本看護協会と都道府県看護協会との災害支援ナース派遣調整合同訓練への参加を通じた実動訓練 ②日本看護協会との「災害支援ナース派遣に関する協定」に基づく災害支援ナースの派遣調整 ③宮崎県保健医療福祉調整本部設置の際の支援団体リエゾン派遣、災害支援ナース派遣調整協力 ④宮崎県、市町村の防災会議・防災訓練等への参加を通じた実動訓練 ⑤看護管理者ネットワークの構築
5-3) 感染対策	(1)感染管理研修会の開催 (2)新興感染症対策に向けた体制整備 ①事業継続計画(BCP)の推進 ②宮崎県感染症対策審議会への参画

6. 在宅ケアサービス等の実施及び訪問看護の推進支援に関する事業(公益目的事業)

事業項目	事業内容
6-1) 在宅・福祉関係施設への支援	(1)訪問看護推進事業(宮崎県委託事業) ①訪問看護推進協議会運営事業 ・宮崎県訪問看護推進協議会の開催(委員14名 年1回) ・訪問看護推進検討会(年3回開催) ・訪問看護実態調査の実施 ・訪問看護啓発活動 ・関係機関との連携 ②訪問看護人材育成事業 ・訪問看護研修 STEP 1 7月～11月(講義3日間、実習3日間) ・訪問看護研修 STEP 2 5月～8月(講義5日間、実習2日間) ・訪問看護管理者研修(ベーシックコース) 9月～10月(講義5日間)

事業項目	事業内容
6-1) 在宅・福祉関係施設への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護管理者研修受講者フォローアップ研修 ・訪問看護師養成コアカリキュラム研修 8月(講義・演習2日間・実習1日間) ・在宅ケアに関心のある看護職のための公開講座6回 ・新卒訪問看護師育成研修 ③看護人材連携支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師による研修会・相談会 ・医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修 ・訪問看護管理者交流研修 ④訪問看護相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護ステーションへの情報提供及び相談のための窓口の運営 ・訪問看護ステーション運営支援研修 ・県民等への情報提供及び相談のための窓口の運営 ・訪問看護パンフレット作成 ・訪問看護ステーションに関する情報発信 (2)在宅・福祉施設等で働く看護職のための研修(地区開催)
6-2) 看護協会訪問看護ステーション事業所の運営事業	(1)宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ1～3号館の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護事業 ・居宅介護支援事業 ・看護学生・看護職の実習教育 ・関連機関との連携・協力 (2)看護協会訪問看護ステーション運営協議会の開催(委員9名 年4回)

7. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業項目	事業内容
7-1) 組織に関する事項	(1)本会組織の充実と強化 <ol style="list-style-type: none"> ①看護政策推進のための組織強化事業 ②会員の加入増加拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・会員目標数 9,000名 ③看護学生に向けたキャリア支援 ④地区活動の推進 ⑤日本看護協会との連携 ⑥諸会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度通常総会 6月15日 ・理事会・常任理事会開催 年6回以上 ・職能・常任・特別委員会の開催 ・選挙管理委員会 ・日本看護協会代議員及び予備代議員研修会 5月23日 ・常任委員会・特別委員会合同委員長会 6月22日 ・施設代表者会議(全体会議1回) 10月1日 ⑦監査及び審査に関すること ⑧広報活動に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「なでしこ」の発行(年4回) ・ホームページの管理 ・マスメディアを活用した広報 ⑨会員の福利厚生 <ul style="list-style-type: none"> ・各種表彰制度への会員の推薦 ・弔意及び見舞い(火災、風水害等)
7-2) 日本看護協会との相互協力	(1)日本看護協会との連携 (2)日本看護協会が開催する会議に関すること <ol style="list-style-type: none"> ①日本看護協会通常総会及び全国職能別交流集会(東京都開催) 6月6日～7日 ②理事会 年6回程度 ③法人会員会 年6回程度 ④全国職能委員長会 ⑤地区別法人会員会(熊本県開催) 10月31日 ⑥地区別職能委員長会(熊本県開催) 11月1日 ⑦日本看護協会が開催する会議等への参加
7-3) 渉外に関する事項	(1)重点事業等に関する渉外活動 <ol style="list-style-type: none"> ①県行政等への要望活動 ②関係機関等との連携強化
7-4) 施設管理に関する事項	(1)宮崎県看護等研修センターの管理 <ol style="list-style-type: none"> ①整備資金納入活動と管理 ②施設・機器の管理 ③図書室の管理・運営

委任状について

通常総会に出席されない方には、委任状の提出をお願いしております。
委任状については、後日依頼文書をお送りいたしますので、お手元に届きましたらご提出をお願いいたします。
※総会を成立させるためには、正会員の過半数の出席が必要です。委任状を提出していただいた方も、出席者として取り扱います。

令和5年度

宮崎県看護研究学会

「日本のひなた宮崎」を支える看護 —あなたの強みを活かしいきいきと働くために—

令和5年度看護研究学会を開催して

学会委員長 松本 憲子

令和5年度は、メインテーマを「『日本のひなた宮崎』を支える看護—あなたの強みを活かしいきいきと働くために—」として開催いたしました。

参加者数は、会場参加144名、Web参加者159名でした。

9施設54題の応募があり34題（採択率62.9%）が採択され、会場では口演18題、示説16題の発表が行われました。

ここ数年は、COVID-19の影響で、感染に配慮した制限のある学会開催となっていましたが、昨年度の教育講演の再開に続き、本年度は示説発表を行い、コロナ禍前の活気が戻ってきました。

宮崎県看護協会教育計画では、毎年、研究に取り組む能力を支援する研修会を開催しています。研修を活用して、看護研究に取り組んでいただければと思います。

令和6年度も多くの皆様からの演題の応募をお待ちしています。

プログラム

- 第1群 急性期看護 5題
- 第2群 医療安全・感染管理 5題
- 第3群 老年看護 4題
- 第4群 終末期看護・グリーフケア 4題
- 第5群 看護師教育 3題
- 第6群 せん妄 3題
- 第7群 患者教育 6題
- 第8群 セルフケア 1題
- 第9群 母性小児 3題



発表の様子



受付の様子



会場



打合せの様子



特別講演

「あなたの強みを活かし、未来につなぐ看護」

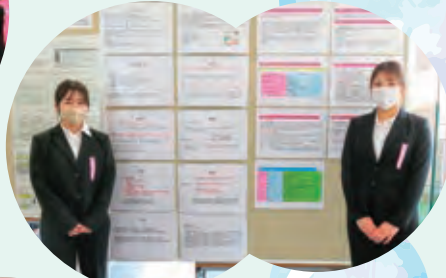
講師 手島 恵氏 ・国際看護師協会 ICN理事

・千葉大学大学院看護学研究院教授

令和6年3月2日(土)

9:00~13:00

参加者:【会場】144名 【Web】159名(4施設)



2F ラウンジ
示説会場



《お疲れ様でした》



取材メモ

5年ぶりに会場を2会場、4群の口演発表、5群の示説発表がありました。発表者は緊張した面持ちでしたが丁寧な口調で分かりやすい口演でした。終わった後の取材では緊張も解けいい笑顔で対応していただきました。

特別講演は看護師として個人としての考え方、視点を変えることにより新しい気づきが自分の成長に繋がると感じた時間となりました。

広報出版委員 米田貴博/長友寛子/上田麻衣子

認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修を受講して

宮崎医療センター病院 大久津 ゆかり

私がこの研修を受講した目的は、人材育成や看護の質向上に必要な知識を習得するためでした。素晴らしい経歴や経験をお持ちの講師の講義は毎回興味深く、受講の目的を達成することが出来ました。約3か月間、週末が研修というハードなスケジュールでしたが、宮崎県内の看護管理者32名の方々と共に受講出来たことがとても励みになりました。今後、この方々とのネットワークを大切に、自施設の看護の発展は勿論のこと、宮崎県の医療・看護にも貢献していけるよう努めて参りたいと思います。今回の研修に携わっていただいた全ての方々に感謝申し上げます。

宮崎大学医学部附属病院 中山 雄貴

私は急性期病棟の看護師長であり、自部署の退院支援や地域との連携強化を課題の一つとして本研修を受講しました。講義では、医療や福祉を取り巻く社会背景、地域包括ケアシステム等を幅広く学習し、訪問看護実習では、地域の中で自分らしく療養生活を送る利用者を看護師が支える現状を学ぶことができました。これらを通し、自部署において、「入院時から退院後の生活を見据えた看護を実践し、継続的な看護のために地域と連携できる人材を育成する」という課題解決の糸口を見出すことができました。

また研修を通し、研修生全員がお互いを支え切磋琢磨して研修期間を乗り越え、ネットワークを構築できたことが大きな収穫となりました。



入退院支援看護師養成研修を受講して

医療法人社団紘和会 平和台病院
早田 亜里沙

私が所属する病棟には、糖尿病の内服管理、インスリン注射、血糖測定が必要な患者がいます。独居で家族の協力が得られない方や、入院が長期になりADL低下がある方などは、退院後も医療・看護・介護が必要になります。そのような患者に対して、入院早期から介入し、患者や家族が納得する形で退院を迎えられるようにしたいと考え、退院支援の役割や方法、家族への関わり方などを学びたいと思い受講を希望しました。

始めは、入退院支援・調整に関わったことがないため不安でしたが、講義を聞いているうちに内容に引き込まれました。講義の中で一番印象深い内容は、病院は地域に存在している地域包括ケアの1つであり、外来と関係各所、病棟と外来、病棟と関係各所との「つながり」の大切さ、早期から患者を「生活者」と捉え関わっていくことの大切を学びました。そのために、地域向けの患者が見える看護サマリーを意識して作成しなければならないと感じま

した。当院は、透析を兼ね備えた糖尿病専門病院であり、長期にわたり通院する患者が多く、入退院を繰り返すこともあります。顔なじみの患者も多く、医療従事者と患者の距離が近く親しみを持って患者に関わっています。患者からも安心して通院できるという声も聞かれ、まさに地域の中の病院だと実感しています。

病棟では退院支援チームを作り、病棟全体で患者が安心して望む場所へ退院できるよう、多職種と連携しながら取り組んでいます。今回学んだことを実践し、経験を積んでいきたいと思っています。

最後に、講義や演習指導をして頂いた先生方、入職1年目の私を研修に参加させてくださった看護部長・副部長、研修中親身に相談にのってくださった師長、研修・講義を受けた研修仲間、研修企画運営して頂いた看護協会の皆様に感謝いたします。



実習指導者講習会フォローアップ研修

実習指導者講習会検討委員会 委員長 小川 淳子

令和5年度実習指導者講習会フォローアップ研修を2月17日(土)に開催し、20名の受講生の方が参加されました。研修目標を「講習会修了後の実習指導者としての役割を振り返り、課題を明確にするとともに今後の取組にむけて資質向上を図る」として、グループワークを行いました。

昨年度はコロナ禍で実習受け入れができていない状況の中での研修でしたが、今年度はどの施設も臨地実習を受け入れられており、実際に実習指導を経験しての参加でした。

グループワークには研修会指導案作成演習を担当された先生方にファシリテーターとして参加していただきました。ワークでは午前中「実習指導者講習会修了後の指導実践の振り返り」について現状を出し合い、午後は2施設の講習会修了生の方が施設での取り組みについて発表してくださいました。その後「実習指導に対するこれからの取組の方向性について話し合いました。

講習会で学んだことを実際に施設に持ち帰り、スタッフと話し合い、より良い実習指導を目指して試行錯誤されている状況が伝わってきました。共に研修を受けた仲間と演習担当教員とさらに

実践の指導の場面を想起しながらのディスカッションは、さらに指導者の質の向上を再確認した研修でもありました。

午後の2名の講習会修了生の発表は、講習会受講前と受講後の変化について、スタッフへの実習指導内容の説明・話し合い、オリエンテーションマニュアル作成、病棟スタッフへのアンケート、スタッフの実習指導に対する変化などを具体的に発表していただきました。この発表が午後からのワークの追い風となり、研修生の皆さんも前向きにこれからの取組の方向性について発表していただきました。

受講生の反応は、「講習会で学んだことが生かされ、実習指導ができていると感じられて良かった」「一緒に演習をした受講生のその後の体験談をたくさん聞くことができて良かった」「他施設での実習指導についての情報を得ることができた」「自身の指導での悩みや問題点をグループメンバーや先生に聞いてもらうことができた」等これからの実習指導に繋がる研修会となりました。お忙しい中、研修参加していただきありがとうございました。これからの皆さんのご活躍を応援しています。そして、今後も多くの実習指導者の皆さんが受講されることを願っております。

第32回 もう一度押さえておきたい 看護のコツ ～専門看護師・認定看護師からみなさまへ～

“ターゲットSpO₂”を活用しよう!

集中ケア認定看護師 堀口 彰一 (宮崎県立宮崎病院)



呼吸は生命維持にとって重要なものであり、SpO₂はその最も基本となる検査値の一つです。パルスオキシメータ機器によって、動脈に針を刺さずとも「無侵襲」「連続的」「リアルタイム」に動脈血中の酸素飽和度がわかります。ただし、SpO₂には様々な“落とし穴”があり正しい理解を持った上で活用することが重要です。私は新人の頃に、先輩看護師から「SpO₂100%だから早く酸素を下げなさい!」と怒られた事があります。基本的には酸素療法中はSpO₂100%で管理しないことが重要です。理由は様々ありますが、一つは“異常に気づきにくくなるから”です。

図1 PaO₂=250、500ともにSpO₂=100%

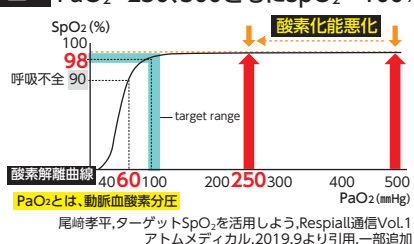


図1をご覧ください。PaO₂=250mmHg時、SpO₂は100%です。ここから酸素をより多く使用して、PaO₂=500mmHgとなってもSpO₂は100%のままです。SpO₂の最大値が100%なので当然です。これが落とし穴です。

図2をご覧ください。例えば、肺炎で酸素の取り込みが悪くなったとします。PaO₂が500→250mmHgへ低下しました。しかしSpO₂は100%のままです。それに対して、酸素量を減らし、SpO₂98%で管理したとします。SpO₂=98%だとおおよそPaO₂=100mmHgです。また同じく肺炎を起こしPaO₂=100→60mmHgへ低下したとします。SpO₂をみると98%→90%へ低下しました。SpO₂=90%をみて誰もが“やばい”と気づくことができる訳です。他にも、酸素毒性、吸収性無気肺、CO₂ナルコーシスなど高濃度酸素投与による弊害は数多くあります。

酸素療法中の管理で重要な考え方が、“ターゲットSpO₂”です。一般的にSpO₂目標値の安全値は94～98%と言われています。医師指示簿に「SpO₂93%以下で酸素増量、97%以上で酸素減量」のような記載はないでしょうか。ただし、このような指示があっても、看護師が意識をしないと酸素減量という行動には繋がりません。酸素療法中は「SpO₂100%=安心」ではなく、「なんか気持ち悪いな、異常の早期発見に不利だから酸素減量できないかな」と考え、行動していきたいですね。

図2 何らかの原因で酸素の取り込みが低下したら…



■専門看護師・認定看護師の皆様へ

宮崎県看護協会HPIに、CNS・CN専用ページ(掲示板)を開設しています。情報発信、情報収集に是非ご利用ください。

利用申請は、[宮崎県看護協会公式ホームページ](#) ▶ [看護職の方へ](#) ▶ [CNS・CN専用ページ](#) からどうぞ!



令和6年度の 訪問看護師養成研修のご案内



宮崎県看護協会では、県の委託を受けて、訪問看護の人材を育成するために「宮崎県訪問看護師養成研修体系」に基づいて訪問看護師養成研修の企画・運営をしています。

訪問看護に関心のある看護職から訪問看護管理者まで、段階に応じて専門的知識・技術を修得することができるよう訪問看護師のキャリアを支援しています。

目指す訪問看護師像 ※地域包括ケアの中の要となる訪問看護師

- ♥ 訪問看護の対象となる人々の「生活」を基盤とした看護が実践できる訪問看護師
- ♥ 多職種との連携・協働の中で自らの役割を自覚し、メンバーシップ・リーダーシップがとれる訪問看護師
- ♥ 訪問看護の実践や役割を社会に向けて発信できる訪問看護師

満足度の高い研修です!



※お申込は、右記の QR コード（研修申込サイト「マナブル」）からお申し込みください

研修名	概要備考
訪問看護管理者研修 (ベーシックコース) 申込期間: 6/1~6/15	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問看護管理者に必要な知識・技術・態度と訪問看護ステーションの運営・経営、人材育成を担う能力を修得する研修です。 ※看護管理の基礎・訪問看護ステーションの経営・運営、人材育成・確保・定着、課題解決技法など管理者として知っておきたい知識・技術が学べます。 ※仲間づくりや課題解決の糸口が見つかります。今回、特典付き!
訪問看護管理者研修受講者の フォローアップ研修 ※申込終了	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度訪問看護管理者研修受講者が、研修での学びを通して、課題解決に取り組んだ看護管理実践の成果を発表。 ※発表を通し、情報を共有することで課題の整理ができ、看護サービスの質評価・改善につなげることができます。
訪問看護師研修STEP2 ～専門分野の知識・技術習得 するためのステップアップ研修～ ※申込終了	<ul style="list-style-type: none"> ●専門分野の知識・技術を習得し、高度医療の看護実践に活かすことができる研修です。 ※訪問看護従事者で、訪問看護研修STEP1修了者、または訪問看護実務経験3年以上の看護職(推薦書が必要です)
訪問看護師研修STEP1 ～訪問看護基礎研修～ 申込期間: 5/15~5/30	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問看護に必要な基礎知識・技術を修得することができます。 ※今年度から「訪問看護eラーニング」の修了者が対象です。 ※「フィジカルアセスメント」はシミュレータを活用して実施します。
新人訪問看護師研修 ※随時、ご相談ください	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問看護ステーションに勤務する新卒看護師のための育成プログラムを活用してサポートいたします。
訪問看護師養成コアカリキュラム ～訪問看護を体験してみよう!～ 申込期間: 6/1~6/15	<ul style="list-style-type: none"> ●医療機関で働く看護職や学生、潜在看護師やキャリアを活かしたい等、訪問看護に興味・関心のある方が研修や体験を通して、訪問看護のことを知ることができます。 ※訪問看護のことをわかりやすく、楽しく学べますよ! 次のステップにもGO!!
訪問看護研修公開講座 訪問看護研修STEP1 1日 訪問看護研修STEP2 3日 訪問看護管理者研修 2日 ※各講座の申込期間はHPで ご確認ください。	<ul style="list-style-type: none"> ●研修コースが受講できない訪問看護の従事者や在宅ケアに関心のある看護職が単日研修受講で訪問看護の学びを深めることができます。 ※医療機関で働く看護職や学生、潜在看護師やキャリアを活かしたい方など、大歓迎!



※「訪問看護師養成研修」は、医療機関の「みなし訪問看護」の従事者の方々も受講できます。研修内容の詳細はホームページに掲載していますので、確認ください。

担当: 在宅支援室



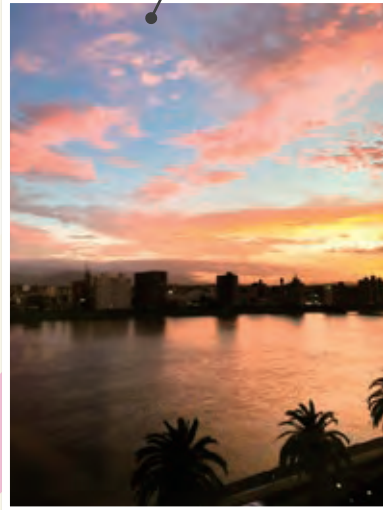
私の元気の源、仕事から帰って来たらいっつも玄関で迎えてくれるそらくんです。

365日 無給で愛犬に癒してもらっています😊感謝♡



パッキーの無防備な寝顔を見るとパワーが湧いてきます。

宮崎の美しい風景が日々の元気の源です！



広報出版委員会のページ

私たちの Let's take a break 元気の源



私の元気の源は、息子の成長です！



高千穂神社です。



家族時間。庭ご飯の時の一枚です。



私の元気の源、我が家の黒猫ちゃんです！とっても甘えん坊でいつも癒されています💖



青島神社です〜🌟 枇榔の木の通りは夏でも涼しい場所です🌞



元気の源はサンビーチツツ葉です。仕事帰りやちょっとした息抜き、散歩にちょうど良いです🌟

NURSE CENTER LETTER Vol.75

ナースセンター長あいさつ

荒川 貴代美

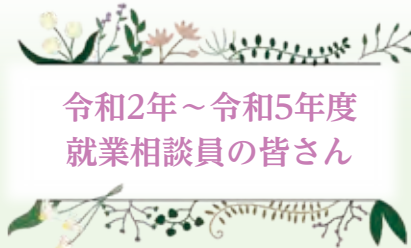
看護のシゴト出前就業相談をご存じですか。県内の7つのハローワークで行っているナースセンター事業の一つです。対象は、看護職、求人施設、看護師を目指す方です。ナースセンターは、県央にあり看護職にとって利便性が良いとは言えません。そこで、看護職がもっと身近で相談ができる体制を整える必要があると考え、平成25年から県内のハローワークでスタートしました。

その相談の担当をしているのが就業支援相談員と言われる、「看護職の先輩方」です。私たちは、彼女たちをひそかに「レジェンド」と呼んでいます。以前は病院の第一線で活躍され、今はセカンドキャリアとして輝いておられます。驚くことに、彼女たちは相談員以外の別の顔を持っているのです。例えば民生委員、まちの保健室の健康相談、地域住民のための活動、自宅で地域住民対象の体操教室を開催、看護学校の実習指導、市役所の相談員、病院の人事担当等々で活躍されています。彼女たちはキラキラ輝き、パワフルでこちらの方が元気をもらっています。また、彼女たちが看護の現場で大事にしていたことなどを聞くと今の仕事に役立つ内容でハッとさせられます。彼女たちと職員とのエピソードでは、当時の苦労したこと。そこを乗り越える際に「一人ひとりとの会話」を大事にしたこと。「教育が大事」だと気づいたこと。そして、職員を育てるには「目標管理が大事」だと語られました。「当時の職員の方と今でも交流を持っているのよ」と話される姿は出逢いを大事にしている証だと思いました。また、地域包括ケアの一員として地域住民の健康や一人暮らしの高齢者を支援し、地域会議に出席するなど看護の力を発揮されていることに頭が下がります。

彼女たちの豊富な看護経験と人生経験で相談者を温かく包み込むように話を聴くので、相談者は心のモヤモヤを話すことができ明日に向かう元気をもらうようです。私たちナースセンターは、そんな就業相談員からのバトンを受け取って相談者と向き合い就業支援をしています。

身近な場所で行う看護のシゴト出前就業相談を是非、ご利用ください。どうぞ、看護管理者の方もおいでください。お待ちしております。

看護のシゴト
出前就業相談の
日程はこちら▶▶



令和6年度ナースセンター事業

ナースセンターでは、4つの事業をとおして、看護職の確保、定着、復職支援に取り組めます。

1 就業支援 看護職の就業支援と人材確保 ● 無料職業紹介事業の実施 ● eナースセンター 求人求職サイトの運営 ● 就業相談の対応 ● ハローワークでの出前就業相談	2 職場環境づくり 看護職の職場環境を支援 ● 職場環境相談窓口 ● 働き方改革研修会の実施 ● 看護職の職場環境調査 ● 地区施設代表者会議等で情報共有	3 復職支援 潜在看護職の復職支援 ● 復職支援研修 ● 採血・点滴技術演習 ● 地区別研修 (県北地区/ハローワークでの採血技術演習) ● 就職準備コース/プラチナCafé	4 看護の魅力発信 未来の看護職を支援 ● 看護進路相談会 ● ふれあい看護体験 ● 看護の出前授業 ● 看護系進学状況調査
---	---	---	--

…… 働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」の紹介 ……

4月、新入社員は期待と不安を抱えながら新たな一歩を踏み出す月です。また、新入社員を迎え入れる職場も新たな人間関係で新体制をスタートされたことと思います。

ご紹介する“働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」”は、そんな職場で活かせる内容となっております。

新入社員へのケアを紹介します。



新入社員へのケア 引用:働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」より

- 1** 新入社員が出社したら「〇〇さん、おはようございます」と、毎朝、相手の名前を呼び、相手の目を見て、上司や先輩の方から挨拶をしましょう。

互いに1日を気持ちよくスタートするために、こちらから明るく挨拶をしましょう。また、尊重している気持ちを伝えるためにも、相手の名前をしっかりと覚え、名前を添えて話しかけてみましょう。
- 2** 新入社員が上司や先輩に質問しても大丈夫な時間帯、もしくはサインを設けましょう。

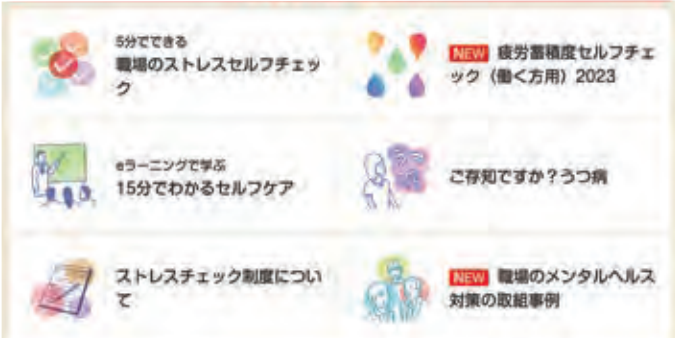
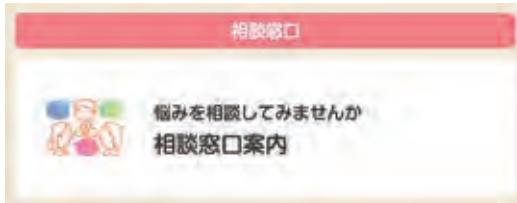
新入社員にとって、はじめての仕事は分からないことばかりです。また、既に説明を受けたことを、忙しくしている周囲の方々に再度聞くのは、とても勇気がいることです。そんなためらいからくるストレスを軽減するために、「〇時からまとめて質問を聞きますね」と質問を受ける時間帯をあらかじめ決めておいたり、「質問したい場合は、いつでも『今、質問して宜しいですか?』と聞いてもらえますか?』と具体的なサインを事前に伝えておいたりすると、新入社員が安心して働きやすくなります。
- 3** 注意をする時は、理由とともに、愛のエッセンスを添えましょう。

新入社員が仕事をする中で、ミスや誤解が出てくることもあるかと思います。本人の成長のためにも、注意することは必要です。しかしながら、注意されると気落ちしてしまったり、やる気をなくしてしまったりするかもしれません。注意する時は、感情的にならず、理由を添え、新入社員の成長のためであることをやさしく伝えましょう。また、「〇〇さんがいつも一生懸命仕事をしているのを私は知っています。これからも期待しています。」など、愛のエッセンスもつけ加えると良いでしょう。

このポータルサイトの対象



対象ごとにコーナーがあります。ぜひ、サイトをのぞいてみてください。様々なコンテンツと相談窓口のコーナーもあります。



セルフケア探偵とは

「セルフケア探偵」とは、今日から使えるセルフケアのポイントを、謎解きドラマを通じてわかりやすく紹介する動画です。



看護の魅力発信事業

宮崎県ナースセンターでは、少子高齢社会における保健医療を担う看護師等の確保を目的に「看護に関する啓発活動」として「看護に出会う体験」「仕事を知る機会の提供」「進路選択につながる情報提供」の3つの方向性の事業に取り組んでいます。多くの方が、これらの機会を通して医療・看護により関心を高め、看護職に対する夢や憧れを「目標」に変え、看護への道をスタートしています。

また、厚生労働省では、一定の条件を満たすことで、教育経費の50～70%相当が専門実践教育訓練給付金として支給される制度を設け、社会人経験者の看護職の養成にも力を入れています。入学試験や国家資格試験受験に年齢制限はないので、中・高生はもちろん、社会人の方でも看護職を目指しやすい環境が整備されています。



看護に出会う体験・仕事を知る機会の提供・進路選択につながる情報提供

看護進路相談会

県内の看護師等養成所が集まって情報提供を行います。また、現役看護職が看護の魅力を伝えます。

対象 社会人、中・高生の看護に興味がある方、保護者、進路担当先生など



ふれあい看護体験

患者さんとの触れ合いを通して、看護することや命について理解を深める機会を提供します。

対象 県内の中・高生



動画をチェック



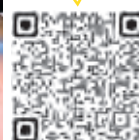
看護の出前授業

看護師や助産師・保健師が講師として学校を訪問し看護職の仕事やその魅力などについて授業を行います。

対象 県内の中学校、高校



動画をチェック



詳しくは

宮崎県ナースセンター

どなたでもご利用できます

看護進路相談室

電話やメール、宮崎県ナースセンター公式LINEを活用して、看護進路に関する質問にお答えします！
宮崎県ナースセンター公式LINEのお友達になってどんどん質問して下さい

県内外看護師等への県内就職支援事業

システム「つなぐ。」を活用し、新年度採用試験情報を集約し、「宮崎で働く！」ことを希望する看護学生や、U・I・Jターンを考える看護職へ県内医療機関などの新年度採用試験情報の提供を行います。

- 1 新年度採用試験を予定している医療機関等がシステム「つなぐ。」に情報登録
- 2 登録した情報は当会ホームページ内で特設ページを設けて公開
- 3 県内の看護学校や関係機関に宮崎県ナースセンターが活用を促進
- 4 情報を見た応募希望者がシステムを介して登録医療機関とコンタクトをとる



採用試験
情報一覧

システム「つなぐ。」ってなあに？

宮崎県ナースセンターは、看護職員確保対策の総合的な推進を図るためのさまざまな事業に取り組んでいます。その中で、医療機関等とひと（看護職）を協会が「つなぐ。」ことをコンセプトに、令和4年にシステム「つなぐ。」を構築し、学校と医療機関をつなぐふれあい看護体験支援システムとして始動しました。システム「つなぐ。」は少しずつ成長し、令和5年に新年度採用試験情報管理システムの機能を追加し、就活中の看護学生や看護職と医療機関をつないでいます。システム「つなぐ。」は宮崎県ナースセンター独自のシステムです。県内多くの医療機関等にご登録いただき、多くのひと（学校・看護職）とつながっていただければと思います。



事業に関するお問い合わせ 宮崎県ナースセンター【直通:0985-58-4525】

訪問した医療機関の好事例紹介

令和4年度に続き令和5年度も看護人材の安定的な確保を図るために、医療機関や訪問看護ステーションを訪問させていただき、現状や人材確保に関して抱えておられる悩みや課題等についてお話を伺いました。お忙しい中対応していただいた看護管理者や事務職(人事担当等)の皆様ありがとうございました。それぞれの施設を取り巻く環境は様々で、ポストコロナ時代の中、感染症対策を講じながら、より質の高いサービスの提供と職員の確保・定着のために、どの施設の看護管理者も尽力されておられました。

そんな中、素晴らしい取り組みをされている施設が多々ありましたが、今回は、その中から2医療機関の取り組みを紹介させていただきます。

1 / 医療法人慶明会 おび中央病院



ごきげんカード

所在地 日南市

病床数 72床(地域包括ケア病床12床 療養病床60床)

取り組み内容 「認め合う風土作り」

お話を伺った人 鈴木 松江 看護部長

おび中央病院では、一人ひとりの良いところを見つけて褒め合ったり、感謝の気持ちを伝えるための「ごきげんカード」を作成して、食堂やスタッフステーション内に掲示されています。どんな小さな事でも“ありがとう”の気持ちを伝える事で、職員間の関係性が良くなり、働きやすい職場風土が醸成されています。院内に人材育成委員会が設置され、委員がカードの内容を確認し、表彰に繋げる仕組みがあり、10年以上も継続されています。



バスターミナル風
記録スペース



2 / 医療法人誠和会 和田病院



所在地 日向市

病床数 病床数163床(一般病床81床 療養病床82床)

取り組み内容 「看護学生の実習環境の整備」

お話を伺った人 富山 由美 看護部長

和田病院では、学生の実習中、病棟のスタッフステーション内のテーブルをバスターミナルに見立て、学生が記録するためのスペースが確保されています。学校名の書かれたバス停と窓に学生名を張り付けたバスの模型が学生を暖かく迎えます。職員が学生を大切に育てようとしている姿勢が感じられ、実習先で学生が安心して過ごせる居場所が作られています。そうした取り組みの結果、毎年新人看護師が入職しており確実に人材確保に繋がっています。採用面接時には「実習でこの病院で働きたいと思った」という言葉が聞かれています。

令和5年度 理事会報告

	第7回	第8回
月日	令和6年1月20日(土) 10:00~11:20	令和6年3月16日(土) 9:55~10:50
会員数	8,779名 保健師:225名 助産師:261名 看護師:7,862名 准看護師:431名	8,792名 保健師:225名 助産師:261名 看護師:7,875名 准看護師:431名
協議事項	協議1. 基本方針:今回はなし 1-1 令和6年度重点事業並びに事業計画(案):承認 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告(令和5年10月~12月分)(案)について:承認 協議3. 管理的事項 3-1 寄附金の執行について:承認 協議4. 人事関係:今回はなし 協議5. その他:今回はなし	協議1. 基本方針:今回はなし 協議2. 事業推進に関する事項 令和6年度宮崎県看護協会通常総会について 2-1 開催方法及びプログラム(案)について:承認 2-2 通常総会議長団等の選出(案)について:承認 2-3 通常総会提出議案:承認 第一号議案 令和6年度役員等選出について 令和7年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について 第二号議案 令和5年度決算報告(案)並びに監査報告 2-4 令和7年度選挙管理委員会委員について:承認 2-5 令和6年度職能委員並びに常任委員等(案)の選任について:承認 2-6 令和6年度宮崎県看護協会収支予算(案)について:承認 協議3. 管理的事項:今回はなし 協議4. 人事関係 4-1 事務局長の選任について:承認 協議5. その他 5-1 令和6年度宮崎県看護協会会長表彰候補者の選考について:承認 5-2 能登半島地震に対する寄付について:承認 5-3 令和6年度理事会等開催計画の一部変更について:承認
報告事項	1. 令和6年度「看護の日・看護週間」について 2. 能登半島地震について	1. 日本看護協会理事会報告 2. 令和6年度「看護の日」記念宮崎県知事表彰推薦について 3. 令和6年度日本看護協会会長表彰について



2024年度「看護の日・看護週間」事業

『みやざきナースToday 2024』の開催



みやざきナースTodayは、県民の皆さまへの看護の普及・啓発、およびこれから進路を選択する若年層に向け看護の魅力を発信するものです。2021年度より、日本看護協会は「看護の日」をPRするラッピングバスを全国で運行してきました。2024年度が最終年度となり、5月17日(金)宮崎県にラッピングバスがやってきます!!

日時 2024年5月17日(金) 10時00分~16時00分

場所・内容 宮崎県庁5号館前にて出発式(「看護の日」記念宮崎県知事表彰と同時開催)、看護の出前授業(宮崎市立加納中学校)、ラッピングバスが宮崎市内を巡回しPRします。



※画像はイメージです

その他、5月12日~5月18日の看護週間に宮崎県庁ライトアップ(予定)や、県内7地区でのまちの保健室にて看護の日グッズ配布を行います。詳細は決定次第、本会ホームページに掲載しますのでぜひご覧ください。 担当:事業部 日高、又木(TEL:0985-58-0622)

事務局からのお知らせ

このたびの能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

宮崎県看護協会では募金箱を設置しており、皆さまからお預かりした募金と看護協会からと合わせて5万円を石川県看護協会へ送金いたしました。

編集後記



新年度がスタートし広報出版委員会に新しいメンバーが加わりました。皆で力を合わせて「なでしこ」を作りあげていきたいと思っております。今回の「Let's take a break」は看護研究会にに合わせて、あなたの強みを活かしたいきいきと働くためにあなたの元気の源はなんだろうに決めました。皆さん「日本のひなた宮崎」を支える看護のために頑張らしましょう!

広報出版委員 本田 里美

広報出版委員

柄本 沙紀 (慈英病院) 米田 貴博 (金丸脳神経外科病院)
山崎 朱美 (平田東九州病院) 濱口 節代 (済生会日向病院)
長友 寛子 (西都児湯医療センター) 本田 里美 (竹内病院)
坂元由美子 (増田病院) 関之尾里美 (大悟病院)
芝元由紀子 (のじり地域包括支援センター) 上田麻衣子 (日南市立中部病院)

発行

公益社団法人 宮崎県看護協会

TEL 0985 (58) 0622 FAX 0985 (58) 2939
発行責任者/中武 郁子
発行/宮崎市学園木花台西2丁目 4-6
E-mail: mkango@d2.dion.ne.jp
https://www.m-kango.or.jp